

公益目的事業

共通：熊本市現代美術館の管理運營業務 【令和元年度実績一覧】

令和元年度全館入場者数：252,224人（開館日数：282/309日：2月29日より新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館）

ア 美術館にずっと居たくなる交流・サービス業務

1 美術館の基本的な管理・運營業務（居場所づくり）

内 容				
美術館運営 (研修)	美術館マネジメント	来館者案内・サービス・館内警備、入場者・入場料管理・分析等		
		朝礼（毎日）、職員ミーティング（週1）、館内スタッフ（月1）等による情報共有		
	4月19日	係長研修	株式会社 コーチングディベロップメント	杉谷・富澤・坂本
	6月29日	一般職研修	株式会社 コーチングディベロップメント	岡田・松本・佐々木・池澤・岩崎み
	8月1-2日	防火管理者講習	日本防火・防災協会	岡田
	9月10日	防災管理者講習	日本防火・防災協会	岡田
	9月17日	総務職研修	株式会社 コーチングディベロップメント	杉谷・岡田・松本
	9月19日	同一労働同一賃金研修	公益財団法人 公益法人協会	松本
	11月6日～8日	文化財IPM実践のための研修会	公益財団法人文化財虫菌害研究所	杉谷
	1月31日	防火防災管理者再講習	日本防火・防災協会	岩崎千
2月26日	博物館と医療・福祉のよりよい関係	九州産業大学	坂本	
美術館運営 (新型コロナウイルス感染拡大防止対策)	2月29日～3月31日	行政との連絡調整 利用者・ボランティア・各方面へ休館連絡 市民美術展中止に伴う出品予定者対応 今年度市民美術展未出品作品の救済方法検討、発信 実施予定の事業や館内の施設などのリスクの検証 開館後の安全対策検討 事業中止に伴う対応（中止・延期・延長、映像制作等）検討 休館時の情報発信		職員全員
美術館運営 (外部審議会等)	8月9日	山出淳也（BEPPU PROJECT代表）	【テーマ】 財団が運営する熊本現代美術館のミッション・ビジョンについて	
	1月20日	原幸代子（県文化協会専務理事） 村田眞宏（豊田市美術館館長） 日比野克彦（岐阜県美術館館長） 山出淳也（BEPPU PROJECT代表）	【テーマ】 ・事業報告 ・財団が運営する熊本現代美術館のミッション・ビジョンについて ・次年度の取組について	
来館者ニーズ調査・対応	来館者、電話、メールの問い合わせ等対応			
	アンケート実施・集計・回答等			439件
	ナイストライ（職場体験）受け入れ	東野中学校2年生2人（2日間：8月28日-29日）		
		白川中学校2年生2人（2日間：9月18日-19日）		
	高等部現場実習受け入れ	熊本大学付属特別支援学校1人（2日間：10月10日-11日）		
中堅教諭等資質向上研修受け入れ	熊本かがやきの森支援学校1人・熊本第二高校1名 (2日間：8月23日-24日)			

内 容 (つづき)		
施設管理	ホームギャラリー管理・運営	開架書籍の整理 問い合わせへの対応（レファレンス）
	キッズファクトリー、子育てひろばの管理・運営	子育てひろばの運営協力
	花壇（正面玄関外）の管理、苗の植え替え	県立熊本支援学校の生徒による花壇の苗の植え替え作業への協力（2回：6月11日、11月20日）
	施設貸出（予約・設備準備・支払等） ※収益事業再掲	会議研修室（422件） アートロフト（194件）
	施設・設備の管理、点検、修繕等	セキュリティ、音響、照明等設備管理、清掃等 設備修繕（16件）
	美術館スタッフによるミュージアムIPM	・展示室、収蔵庫、一時保管庫、付室へのトラップ設置によるモニタリング ・毎月の収蔵庫、一時保管庫、付室、搬入口、ホームギャラリー本棚のクリーニング（掃除機、ドライワイパー使用） ・収蔵庫、一時保管庫、美術館入口、展示室入口のアナログ温湿度調査器による計測 ・展示室（GⅠ、GⅡ）の展示期間中のデジタルロガー計測

イ 美術館にもっと来たくなる交流・サービス窓口

1 情報発信

内 容	分 類	詳 細	
美術館や事業の広報	発信	美術館やイベントの総合的な情報発信	パンフレット、年間リーフレット、月だよりの作成・配付
		展覧会の情報発信	展覧会チラシ、ポスターの作成・配布
		ホームページ維持管理	維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 熊本市現代美術館 https://www.camk.jp
			維持管理・変更・更新等（レンタルサーバ含む） 美術文化振興財団 http://www.kcac-pf.jp
		twitter、facebook等	美術館のできごとをリアルタイムで発信・掲載
	提供	メディアを利用した情報提供	報道資料、リリースの作成・配付
		紙メディアを利用した情報提供	新聞、雑誌等への取材依頼、記事提供等
		ラジオ・テレビ取材等	ラジオ、テレビへの取材依頼、情報提供、出演等 エフエム791（週1回レギュラー）
市政だより、市facebook等		記事提供	

2 市民主体の交流・サービス（たまり場機能）

（1）ボランティア活動等（日常）

種 類	活 動 内 容	人 数（内訳）	合 計 人 数
図書チェック	ホームギャラリーやキッズサロンの本のチェック、整理	(43人)	199人
布絵本修理	キッズサロンの布絵本の修理、手遊びグッズの作成等	(18人)	
資料整理	新聞等資料のチェック、切り抜き等	(15人)	
発送作業	ポスター、チラシ等の発送作業	(37人)	
ピアノ演奏	ミニピアノコンサートの演奏	(58人)	
よみがたり	絵本などのよみがたり	(20人)	
イベント・展示作業補助	展覧会の作品展示作業補助、イベント補助等	(8人)	

(2) ボランティア研修等

研 修 等	活 動 内 容	開 催 日	参加人数
総会①	CAMKEES総会（活動内容について）	6月8日	16人
研修	新規登録ボランティア研修①	10月13日	10人
研修	新規登録ボランティア研修②	10月17日	10人
研修旅行	CAMKEES研修旅行（門司港）見学	10月29日	18人
新年会	CAMKEES新年会	1月16日	43人
合 計			97人

3 多様なジャンルのイベント

(1) 映画・映像イベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
定例映画上映会	月曜ロードショー	毎週月曜 14:00-、17:00-の2回 上映権付の映画上映	46回/年（毎週月曜日） ※2月24日以降中止	4,698人
合 計				4,698人

(2) 音楽・朗読イベント

種 別	内 容		開 催 日	参加人数
音楽イベント	ホームギャラリー コンサート	当館のピアノボランティアによるピアノ演奏。ホームギャラリーで毎日19:00-19:30に実施	231回/年（毎日） ※2月23日以降中止	3,300人
	TSUNAMI ヴァイオリン公演	東日本大震災の「奇跡の一本松」からつくられた”TSUNAMI ヴァイオリン”の音色に追悼の想いと復興への願いを乗せ、千人のヴァイオリニストがリレーのように弾きつないていくプロジェクト。	4月14日	120人
	CAMK ピアノコンサート vol. 21	当館のピアノボランティアによるコンサート	6月1日	71人
	「くまもと大邦楽祭2019」 プレイベント ～子どもの日 邦楽コンサート～	「くまもと大邦楽祭2019」のプレイベント。箏によるコンサート	5月5日	100人
	国際スポーツ大会記念 ～ウ ルグアイタンゴを知ろう～	熊本で開催されるラグビーワールドカップのウェールズvsウルグアイ戦にちなんで、ウルグアイタンゴのミニコンサート	10月14日	23人
	箏ライブー長谷検校百年祭邦 楽新鋭展	長谷幸輝検校百年祭・邦楽新鋭展の関連事業の箏ライブ。県内外で活躍する箏奏者8名が演奏。	11月10日	125人
詩の朗読のタペ	毎月テーマを決めて自作の詩を発表しあう詩の朗読会 (飛び入り参加も可)	第183回（テーマ：ビル）	4月25日	13人
		第184回（テーマ：となり）	5月25日	7人
		第185回（テーマ：季節）	6月27日	8人
		第186回（テーマ：おもしろい）	7月25日	13人
		第187回（テーマ：本）	8月22日	13人
		第188回（テーマ：バランス）	9月26日	10人
		第189回（テーマ：名作）	10月24日	10人
		第190回（テーマ：肖像）	11月28日	10人
		第191回（テーマ：よろこび (クリスマス))	12月26日	9人
		第192回（テーマ：糸）	1月23日	10人
		第193回（テーマ：みる・みられる）	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
第194回（テーマ：ネズミ (子))	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-		
合 計				3,842人

(3) お楽しみイベント

種 別	内 容	開 催 日	参加人数	
読みがたり	当館ボランティアによる絵本の読みがたり、紙しばい、手遊び歌など	第115回 (テーマ：ピッカピカ)	4月20日	15人
		第116回 (テーマ：いろんなたてももの)	5月18日	15人
		第117回 (テーマ：水のおはなし)	6月15日	10人
		第118回 (テーマ：いろとかたち)	7月27日	22人
		第119回 (テーマ：夏だ)	8月17日	41人
		第120回 (テーマ：お月さま)	9月28日	15人
		第121回 (テーマ：みのりの秋)	10月26日	12人
		第122回 (テーマ：どうぶつ)	11月16日	7人
		第123回 (テーマ：クリスマス)	12月21日	18人
		第124回 (テーマ：はじまるよ)	1月18日	16人
		第125回 (テーマ：ぽかぽか)	2月15日	16人
	第126回 (テーマ：おでかけ)	3月21日 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	—	
子育てひろば ワークショップ	親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ	4月18日	13人
	親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ	5月23日	42人
	親子でリフレッシュヨガ	親子でヨガをしてリフレッシュするワークショップ	6月20日	24人
	おはなし会を親子あそび	転入者とその子どもを対象に自己紹介やゲームで交流する、出会いの場づくり	7月18日	47人
	親子で楽しむおもちゃ作り	身近な材料を使って、竹とんぼや笛、おもちゃなどを作るワークショップ	8月22日	36人
	親子でわくわくリトミック	親子でできる手遊びや歌遊びを取得するワークショップ (1歳編)	9月19日	51人
	親子で楽しむアート	画用紙やテープを使って虫をつくる、子どもの想像力を生むワークショップ	10月17日	29人
	英語で遊ぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	11月18日	33人
	親子で楽しむ フラワーアレンジメント	親子で協力してフラワーアレンジメントに挑戦するワークショップ	12月19日	34人
	親子で楽しむアート	いろいろな材料を組み合わせ、カーニバル衣装をつくるワークショップ	1月20日	25人
	英語であそぼう！ABC	親子で英会話を楽しむワークショップ	2月20日	24人
	親子でふれあい遊び	3月19日 新型コロナウイルス感染拡大 防止のため中止	—	
合 計			545人	

公益目的事業

公1:美術館における展覧会事業その他の文化芸術の振興事業 【令和元年度実績一覧】

ア 展覧会等

1 メインギャラリー（ギャラリーⅠ・Ⅱにおける展覧会）

(1) ギャラリーⅠ・Ⅱ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
大竹伸朗 ビル景 1978-2019	現代美術家・大竹伸朗のこれまで余り知られてこなかった絵画シリーズ「ビル景」に焦点をあて、全作品を網羅したカタログレゾネを作成し、可能な限り展示することを目指す展覧会。	4/13-6/16 (57日間)	8,024人
デザインあ展 in KUMAMOTO	子どもたちのデザイン的な思考をはぐくむテレビ番組・NHK Eテレ「デザインあ」のコンセプトを、実際の体験に発展させた企画展。デザインに関する一連の思考力と感性を、自ら体験しながら、五感を通じて気づき学ぶ内容。	6/30-9/8 (61日間)	105,906人
東京国立近代美術館所蔵品展 きっかけは「彫刻」。 CAMKコレクション展 Vol.6 きっかけは「彫刻」。	九州でほとんどみる機会のない日本近代彫刻を、その黎明期から昭和まで、東京国立近代美術館の優品から紹介する。当館のコレクション展も同時開催することで、明治から平成までの彫刻の展開を時系列で追い、日本の立体造形の表現の展開を示した。	9/21-11/24 (56日間)	7,936人
ドレス・コード？ ——着る人たちのゲーム	京都服飾文化研究財団（KCI）の衣装コレクションを中心に、ファッションやアートのほか、映画やマンガなどに描かれたファッションも視野に入れながら、現代社会における新たな「ドレス・コード」、わたしたちの装いの実践（ゲーム）を見つめ直した。	12/8-2/23 (62日間)	12,439人
第31回熊本市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会。 審査員：熊本市現代美術館学芸員	3/7-3/22 (14日間) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
合 計			134,305人

※ 第31回熊本市民美術展については、エで再掲

2 小ギャラリー（ギャラリーⅢ・井手宣通記念ギャラリー）における展覧会

(1) ギャラリーⅢ

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
田中栄一展 太古の鼓動	熊本出身・在住の写真家 田中栄一の個展。オーストラリアのフレーザー・アイランドを取材したカラー写真作品を、縦横1メートルを超える大型ライトボックスで見せる4点組の新作《砂と記憶 太古の鼓動》と、代表作であるモノクロ写真作品《砂と記憶》シリーズ等を展示。	4/1-4/21 (18日間) H31. 2/24-4/21 (60日間)	1,285人 (5,516人)
浦川大志&名もなき実昌 二人展 「終わるまで終わらないよ」	福岡在住の若手作家、浦川大志と名もなき実昌の二人展。両作家による、ネットやデジタルデバイス等の影響のもとで変容する現代ならではの知覚・認識のあり方を反映した作品を展示。	4/24-7/7 (66日間)	7,819人
本と人と作品の空間を考える03 新しい古本	熊本市現代美術館が所蔵する雑誌のバックナンバーを開架するとともに、リメイクした服「途中でやめる」の販売や「新しい骨董」の探索にも取り組む山下陽光の企画協力のもと、「現代美術館」としての本や情報の新たな価値について考える機会を提案。	7/10-8/25 (41日間)	10,830人
田中智之の解体新書展	青ペン1本で建築を「解体」するような驚異のパース画を描く建築家・田中智之（熊本大学教授）のパース画・通称「タナパー」を紹介する展覧会。	8/28-10/27 (53日間)	8,494人
My Name is Tokyo Kai and I am an Artholic 甲斐寿紀雄コレクション展	久留米在住の若手コレクター・甲斐寿紀雄のコレクション作品約50点を展示し、「コレクター」という存在にスポットを当てる展覧会。作品とともに、コレクションにまつわる甲斐の様々なストーリーをあわせて紹介。	10/30-1/23 (69日間)	5,274人
熊本市現代美術館所蔵作品より 被災作品 公開コンディションチェック展 〔第3回〕	熊本地震で被災した収蔵作品のコンディションチェック作業を、一般来館者に公開で行うことを中心とした企画。3回目となる本展では、主に紙を支持体とする、水彩画、版画、日本画の材質・技法による作品の詳細な状態確認作業を実施した。展示点数14点。	1/25-2/16 (20日間)	2,299人
高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み 解く19世紀末（ベル・エポック）—『ニ ュクス角灯』、『蝶のみちゆき』…展	天草出身・熊本在住のマンガ家高浜寛の個展。マンガ『ニュクス角灯』『蝶のみちゆき』などから、貴重な原画とともに、作品に登場する高浜のアンティーク・コレクションを大公開。出品点数89点。	2/22-2/28 (6日間開催) 2/29-3/31(新型コロナウイルス感 染拡大防止のため閉場)	603人
合 計			36,604人

(2) 井手宣通記念ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
CAMKコレクション展 「小さな物語」	「小さな物語」をテーマに、熊本の市民のエピソードをもとに制作された川内倫子と山本太郎の作品（当館コレクション）の計2点を展示。	4/1-4/21（18日間） （H31.2/14-4/21：58日間）	1,285人
CAMKコレクション展 —新規収蔵作品	収蔵作品より近年新規収蔵した作品を紹介。書、洋画から最先端の写真表現までを紹介。井手宣通、石内都、蜷川実花、寺田克也、江田豊、宮本明、神野大光の19点。	4/24-7/7（66日間）	7,819人
CAMKコレクション展 —新規収蔵作品パート2	新規収蔵品の佐々木耕成《作品#9》（2018年度）、天野喜孝《月と太陽》（2018年度）、宮本明《記憶を奪った海》（2017年度）の3点に加え、これまでの収蔵品より、坂田憲雄が1980年代のスケッチシリーズ、井手宣通作品を併せて紹介した。	7/10-8/25（41日間）	10,830人
CAMKコレクション展 横尾忠則—1965→	横尾忠則による1960年代のポスター作品5点を、NHK大河ドラマ『いだてん～東京オリムピック噺～』のポスター5点とともに紹介。	8/28-11/17（71日間）	9,945人
ドレス・コード？ —着る人たちのゲーム [スピンオフ企画]学校のルールは守らなければならない？—高校制服編—	「ドレス・コード？」展のセクション「組織のルールを守らなければならない？」から、さらに「高校制服」に限定し、熊本の高校の制服を紹介することで、制服にまつわる様々なクエスチョン「？」を投げかけた展示。	12/11-2/17（55日間）	5,228人
高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末（ベル・エポック）—『ニュクスの角灯』、『蝶のみちゆき』…展	天草出身・熊本在住のマンガ家高浜寛の個展。マンガ『ニュクスの角灯』『蝶のみちゆき』などから、貴重な原画とともに、作品に登場する高浜のアンティーク・コレクションを大公開。出品点数89点。	2/22-2/28（6日間開催） 2/29-3/31（新型コロナウイルス感染拡大防止のため閉場）	603人
合計			35,710人

3 フリーゾーン・階段ギャラリー等における展覧会

(1) フリーゾーン

展覧会名	展覧会内容	期間
熊本城天守閣1/10模型展示	熊本城天守閣の修復工事にともない、天守閣内に設置されていた1/10サイズの熊本城天守閣の木軸模型を館内で展示。	4月1日-9月9日（216日間）
本と人と作品の空間を考える02 マンガ・マンガ・マンガ	熊本大学で開催される日本マンガ学会第19回大会に併せて、当館で取り組んできたマンガに関する展覧会等をアトスカイギャラリーで紹介	6月12日-6月24日（12日間）
ドレス・コード？ —着る人たちのゲーム [スピンオフ企画] YOKO FUCHIGAMI 《KAWARIME FUCHIGAMI》特別展示	熊本市現代美術館の「ドレス・コード？」展と熊本PARCOの「YOKO FUCHIGAMI MAJI BOUTIQUE」展のスピンオフ企画として、YOKO FUCHIGAMIの《KAWARIME FUCHIGAMI》をロビーで特別展示	12月7日-12月25日（16日間）

(2) 階段ギャラリー

展覧会名	展覧会内容	期間
大城組（おおきぐみ）の巨匠たち展	熊本市の支援学級で長年教鞭をとる大城先生とその教え子たちによる作品展	6/1-6/30（26日間）
全国友の会 幼児生活団〈熊本〉	幼児生活団体〈熊本〉の活動の中で作られた造形作品等の展示	7/31-9/1（29日間）
熊本大学教育学部附属 特別支援学校 中学部 作品展	熊本大学特別支援学校中等部に通う生徒の造形作品	12/14-1/6（15日間）

イ コンサート、パフォーマンス等

1 ホームギャラリーや街なか（商店街等）における公演

(1) 公開制作

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
浦川大志誕生日記念公開制作	浦川大志&名もなき実昌 二人展	出品作家の浦川大志の誕生日を記念した公開制作。終日かけて3点の新作を会場内で制作し、展覧会に加えた。	5月3日	62人
合 計			1回	62人

(2) 作品上映会

演 題	展 覧 会	内 容	開 催 日	参加者数
上映プログラム「デザインあ」	デザインあ展 in KUMAMOTO	NHK Eテレの番組「デザインあ」のDVD上映会	7月7日	80人
			7月14日	60人
			8月9日	60人
			8月16日	50人
			8月31日	50人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」① 『ベルサイユのばら—オスカルとアンドレ編—』	ドレス・コード？	「ドレス・コード？」展で投げかけている「ドレス・コード」に関する映画を上映 ※定例映画上映会「月曜ロードショー」を兼ねる	12月9日	81人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」② 『カサブランカ』			12月16日	121人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」③ 『ベニスに死す』			12月23日	109人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」④ 『君に届け』			1月6日	72人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑤ 『ランボー3 怒りのアフガン』			1月13日	98人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑥ 『ミスター・ロンリー』			1月20日	96人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑦ 『アウグスト・ザンダー』			1月27日	59人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑧ 『理由なき反抗』			2月3日	125人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑨ 『シド アンド ナンシー』			2月10日	94人
映画上映 【特集】映画で観る「ドレス・コード」⑩ 『はなればなれに』			2月17日	104人
合 計			15回	1,259人

ウ 講演会、トークショー、ギャラリーツアー等

1 ホームギャラリーや展覧会場等における講演

(1) レクチャー・カレッジ

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
大竹伸朗 ビル景 1978-2019展について	大竹伸朗 ビル景 1978-2019展	坂本顕子 (当館学芸員)	大竹伸朗のこれまでの作品と「ビル景」について紹介	5月12日	25人
きっかけは「彫刻」。展プレミアムナイトツアー	きっかけは「彫刻」。展	富澤治子 (当館学芸員)	「彫刻」の始まりから現代まで、出品作品に表れる各時代の流行や傾向などの見どころについて説明	11月1日	14人
合計				2回	39人

(2) アーティスト・トーク

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
アーティスト・トーク①	大竹伸朗	大竹伸朗 (出品作家)	出品作家によるトーク	4月13日	100人
浦川大志アーティストトーク	浦川大志&名もなき実昌 二人展	浦川大志 (出品作家)	本展出品作家による会場内でのトーク	4月27日	13人
アーティスト・トーク②	大竹伸朗	大竹伸朗 (出品作家)	出品作家によるトーク	5月3日	100人
オープニング・トーク	デザインあ展 in KUMAMOTO	佐藤卓 (本展総合ディレクター)	番組「デザインあ」総合指揮および本展の総合ディレクターである佐藤卓氏による、「デザインマインド」についてのトーク	6月30日	150人
トーク&ワークショップ	新しい古本	山下陽光 (企画協力)	企画協力が本や情報について語るトーク&ワークショップ	7月13日	30人
田中智之展アーティストトーク	田中智之の解体新書	田中智之(出品作家)、園田聡、山下裕子(街づくり研究)	出品作家と街づくりや広場に関して実践を行うメンバーによるトーク	8月31日	120人
イベント ドレス・コード+パブロープ	ドレス・コード?	西尾美也 (アーティスト)	「ドレス・コード」展の概要と、個人の服を持ち寄り誰もが使える公共のワードローブを作る西尾美也のプロジェクト「パブロープ」についてのトーク	11月2日	20人
コレクタートーク 「これまでの話とここだけの話」	甲斐寿紀雄コレクシオン展	甲斐寿紀雄 (本展出品者、コレクター)	本展出品者の甲斐寿紀雄が出展作品の見どころやエピソードを紹介	11月9日	16人
コレクタートーク・アンコール	甲斐寿紀雄コレクシオン展	甲斐寿紀雄 (本展出品者、コレクター)	本展出品者の甲斐寿紀雄が出展作品の見どころやエピソードを紹介	12月14日	6人
高浜寛アーティストトーク+サイン会	高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末(ベル・エポック)展	高浜寛 (出品作家)	本展出品作家の高浜寛によるトーク	3月20日 *中止	—
合計				9回	555人

(3) 講演会

演題	展覧会	講師等	内容	開催日	参加者数
イブニング・レクチャー・カフェ —デザインがわかるリレー講座—① 「生活のすべてがデザインです」	デザインあ展 in KUMAMOTO	飯田晴彦 (崇城大学芸術学 部デザイン学科教 授)	実際にデザインを手掛けている専 門家を講師に招き、身の回りにあ るデザインの工夫やその仕事につ いての知識を深める連続講座。第1 回はデザイン総論。	7月5日	23人
イブニング・レクチャー・カフェ —デザインがわかるリレー講座—② 「デザインで生活をしよう！—グラ フィックデザイン—」	デザインあ展 in KUMAMOTO	岩上孝二 (崇城大学芸術学 部デザイン学科教 授)	実際にデザインを手掛けている専 門家を講師に招き、身の回りにあ るデザインの工夫やその仕事につ いての知識を深める連続講座。第2 回はグラフィックデザインについ て。	7月12日	18人
イブニング・レクチャー・カフェ —デザインがわかるリレー講座—③ 「わかりやすさをつくる—環境デザインと サイン—」	デザインあ展 in KUMAMOTO	原田和典 (崇城大学芸術学 部デザイン学科教 授)	実際にデザインを手掛けている専 門家を講師に招き、身の回りにあ るデザインの工夫やその仕事につ いての知識を深める連続講座。第3 回は環境デザインについて。	7月19日	20人
イブニング・レクチャー・カフェ —デザインがわかるリレー講座—④ 「目に見える、使える、手にできるすべ てのモノ—プロダクトデザイン—」	デザインあ展 in KUMAMOTO	飯田晴彦 (崇城大学芸術学 部デザイン学科教 授)	実際にデザインを手掛けている専 門家を講師に招き、身の回りにあ るデザインの工夫やその仕事につ いての知識を深める連続講座。第4 回はプロダクトデザインについ て。	7月26日	20人
イブニング・レクチャー・カフェ —デザインがわかるリレー講座—⑤ 「激論！！熊本をどうデザインするか？」	デザインあ展 in KUMAMOTO	飯田晴彦、岩上孝 二、原田和典 (3名とも崇城大学 芸術学部デザイン 学科教授)	連続講座の最終回は講師全員によ る鼎談。熊本の街をめぐるデザイ ンについて議論した。	8月2日	23人
特別講演会 「東京国立近代美術館コレク ションから日本の「近代」の「彫刻」を考 える」	きっかけは「彫 刻」。展	大谷省吾 (東京国立近代美 術館美術課長)	東京国立近代美術館所蔵品である 出品作品を中心に「彫刻」と各時 代背景を紹介する講演会	9月21日	45人
レクチャー 石関亮、牧口千夏	ドレス・コード？	石関亮(京都服飾 文化研究財団キュ レーター)、牧口 千夏(京都国立近 代美術館主任研究 員)	企画者によるレクチャー	12月8日	60人
レクチャー 小形道正	ドレス・コード？	小形道正 (京都服飾文化研 究財団アシスタ ント・キュレー ター)	企画者によるレクチャー	2月1日	23人
合 計				8回	232人

(4) プレママ&ファミリーツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
大竹伸朗	4月27日	坂本顕子(当館学芸員)	妊娠中の女性とその家族、または6才以下の 子供と大人の組み合わせで、美術館や展覧 会を楽しんでもらうツアー	4人
きっかけは、彫刻。	7月7日	坂本顕子(当館学芸員)		3人
ドレス・コード？	1月18日	岩崎美千子(当館学芸員)		6人
合 計	3回			13人

(5) ナイトツアー

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
大竹伸朗	(市職員対象) 5月15日	坂本顕子(当館学芸員)	近くに勤めていても、夜まで仕事で美術館 に足を運ぶ機会のない中央商店街の方々の ための閉館後(20時以降)の特別ツアー	7人
	5月22日			43人
デザインあ展 in KUMAMOTO	7月11日	岩崎美千子(当館学芸員)		23人
	7月18日	岩崎美千子(当館学芸員)		40人
きっかけは「彫 刻」。展	10月10日	富澤治子(当館学芸員)		23人
	10月13日	富澤治子(当館学芸員)		4人
ドレス・コード？	12月11日	池澤茉莉(当館学芸員)		30人
	12月15日	池澤茉莉(当館学芸員)		26人
合 計	8回			

(6) ギャラリー・トーク

展覧会	開催日	講師等	内容	参加者数
大竹伸朗	6回/会期中	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー	70人
きっかけは「彫刻」。展	1回/会期中	坂本顕子（当館学芸員）	「さわるギャラリーツアー」当館所蔵作品数点に手袋越しに触れる鑑賞体験	4人
	4回/会期中	当館学芸員	学芸員が展覧会場を案内するツアー	61人
合計	11回			135人

エ 公募による展覧会

1 熊本市にゆかりのある人なら誰でも出品することができ、出品された作品は全て展示する市民公募展の開催

展覧会名	展覧会内容	期間	入場者数
第31回熊本市市民美術展 熊本アートパレード	15歳以上（中学生は除く）の熊本市在住・在勤・在学者・熊本市出身者なら誰でも無審査で出品することができる公募の展覧会 審査員：熊本市現代美術館学芸員	3/7-3/22（14日間） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	—
合計			0人

オ 災害復興支援事業

1 災害が発生した際、公1事業の収益を活用し、当財団から被災地の自治体等へ支援や寄付を実施

※令和元年度は寄付を行っていない

公益目的事業

公2：美術館等における文化芸術の調査研究等事業 【令和元年度実績一覧】

ア 調査研究

事業内容	主な研究分野
美術館・文化芸術全般について	ライフ 生きることは、表現すること
	谷川俊太郎
	ムーミン展 THE ART AND THE STORY
	MINIATURE LIFE展2-田中達也 見立ての世界-
九州又は熊本ゆかりの作家について	高浜寛、川野美華・コーダヨーコ・豊田有希・モヒカンポシェットほか
熊本ならではの文化や歴史について	生人形ほか
市収蔵作品、他館からの借用作品について	市収蔵作品（井手宣通ほか）についての調査研究
	大竹伸朗展・デザインあ展・きっかけは彫刻展・ドレス・コード展の出品作品調査

公表方法	実 績			
展覧会、講演、紀要・論文等	次年度以降開催の展覧会及びそれに伴う講演会等			
	熊本市現代美術館2017年度年鑑【アートガマダスVol.17】発行			
ホームページ等（市収蔵作品）	ホームページによる公開	1,512点		
展示公開、貸出、特別利用（市収蔵作品）	熊本市現代美術館における展示公開	93点 ※ 公1-ア-2に詳細を記載 合計11点		
	他館での展示のための貸出 ※いずれも無償で貸与	ウィンカ・ショーニバレ	Diary of a Victorian Dandy	
		井手宣通	秋の根子岳	
		井手宣通	根子岳	
		井手宣通	噴火している阿蘇山	
		井手宣通	阿蘇	
		井手宣通	大観峰の朝	
		宇野千里	阿蘇外輪山雪景	
		宇野千里	根子岳	
		宇野千里	山	
		三浦洋一	褶 4(火山)	
		日比野克彦（中島清）	トーロート	
		特別利用（熟覧・撮影等）	0点（熟覧）、0点（撮影）	
		作品画像貸出件数	合計9件	
			安本亀八 《相撲生人形》	3件
井手宣通 《関越道を行く》	1件			
松本寛庸 《サグラダファミリア》	1件			
吉山安彦 《黒い樹》	1件			
大山清長 《裸婦》	1件			
木下今朝義 《収容所時代》	1件			
木下晋 《ヒエログリフダイアリー》	1件			
館内での閲覧（図書資料等）	ホームギャラリー、アートスカイギャラリー、キッズサロンにおける閲覧			
借用元への情報提供	調査研究内容についての情報提供			

公表方法（つづき）	実 績			
館外での発表、寄稿	4月	連載：大竹伸朗はなぜ「ビル景」を描くのか？——約40年にわたる絵画シリーズの全貌	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	5月	菊池アートプロジェクトシンポジウム登壇	菊池アートプロジェクト実行委員会	坂本
		発表「近年の日本の公共芸術をめぐる論争」	第三回寧波杭州湾新区国際公共芸術展シンポジウム（中国・寧波）	佐々木
	6月	今田淳子 x 富澤治子「対談会」	柳川市主催 於：柳川市古文書館	富澤
	7月	札幌国際芸術祭シンポジウム登壇	札幌国際芸術祭実行委員会	坂本
		連載：美術館の存在意義——追悼 桜井武 熊本市現代美術館館長	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本
	8月	講演：ハートに響く！アール・ブリュットの世界	心血管インターベンション学会	坂本
		発表「日本各地の芸術祭の様々な目標設定と評価システム」	麗水バルビゾン国際シンポジウム（中国・麗水）	佐々木
	9月	寄稿：「彫刻」のその先へ	『新美術新聞』9月21日号	富澤
	10月	「美術館を開けることの意味」	熊本市復興総室「熊本地震復興手記集」	岩崎千
	11月	「地域とアートをつなぐ、人と人をつなぐ」	美術館連絡協議会会報144号	岩崎千
	10-11月	連載：きっかけは「彫刻」。作品でたどる日本近代彫刻史（全4回）	熊本日日新聞	富澤
12月	連載：サラリーマン・コレクターの生き様——MY NAME IS TOKYO KAI AND I AM AN ARTOHOLIC 甲斐寿紀雄コレクション展	大日本印刷artscape キュレーターズノート	坂本	

イ 熊本市収蔵作品整理、保管、貸出等事業

内 容		点 数 等		
作品管理	市収蔵作品の管理・保管（貸出はアの公表方法に記載）	1,512点		
	市収蔵作品購入予備調査及び報告	館長不在のため次年度に見送り		
	作品データ管理・整備	公開作品 1,512件		
図書資料管理	図書資料等の収集	開架用書籍（絵本、漫画等含む）	199冊	291冊
		刊行物	29冊	
		研究書（展覧会企画、調査等に利用）	60冊	
		映像資料	3本	
	図書装備	装備	0冊	87冊
		コーティング	87冊	
	図書資料データ管理	一般図書（絵本、漫画等含む）	29,145件	31,444件
逐次刊行物		271件		
映像資料（CD等含む）		2,028件		

公益目的事業

公3：美術館等における文化芸術活動の支援及び教育普及等事業 【令和元年度実績一覧】

ア 教育普及

1 市民参加型ワークショップ

(1) ワークショップ

展覧会	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
大竹伸朗	4月30日	ブラックライトでビル景を描こう！	美術館スタッフ	大竹伸朗「ビル景」展を鑑賞した後に、ブラックライトでビル景を描くワークショップ	9人
大竹伸朗	5月6日	くまもとビル景さんぽ	熊本ビル部（近代建築研究）	熊本ビル部を講師に、ビル景展を鑑賞した後、街なかの「渋いビル」を見学するワークショップ	20人
大竹伸朗	6月1日	粘土でビル景を作るう	美術館スタッフ	大竹伸朗「ビル景」を鑑賞した後に、陶土を用いてビルのある風景を粘土で作るワークショップ	6人
大竹伸朗	6月11日-13日	学芸員と行くせとうち島アート巡り3日間	坂本顕子（当館学芸員）	大竹伸朗作品が多数設置される直島など瀬戸内のアートを学芸員とともにめぐる旅	15人
デザインあ展 in KUMAMOTO	8月10日	文字を探そう、描いてみよう。のらもじ発見プロジェクト in 熊本	下浜臨太郎（グラフィックデザイナー、出品作家）	熊本市の中心商店街を歩き、そこにしかない文字（＝のらもじ）を探す。街で見つけた文字の特徴を観察しながら、参加者の好きな文字をレタリング。制作した文字は缶バッジに仕上げた。小学生とその保護者を対象とした回。	9人
デザインあ展 in KUMAMOTO	8月11日	文字を探そう、描いてみよう。のらもじ発見プロジェクト in 熊本	下浜臨太郎（グラフィックデザイナー、出品作家）	熊本市の中心商店街を歩き、そこにしかない文字（＝のらもじ）を探す。街で見つけた文字の特徴を観察しながら、参加者の好きな文字をレタリング。制作した文字は缶バッジに仕上げた。高校生以上を対象とした回。	9人
田中智之の解体新書	9月28日	タナパーを描こう	田中智之（出品作家）	遠近法の基礎を学んで、美術館内で実際にタナパーを描いてみるワークショップ	15人
きっかけは「彫刻」。展	10月19日	ひびのこづえWS「ちいさな生き物のブローチをつくる」①	ひびのこづえ（出品作家）	ひびのこづえ提供のはぎれを素材に布製のブローチをつくる	37人
きっかけは「彫刻」。展	10月20日（1日2回開催）	ひびのこづえWS「ちいさな生き物のブローチをつくる」②	ひびのこづえ（出品作家）	ひびのこづえ提供のはぎれを素材に布製のブローチをつくる	87人
ドレス・コード？	10月16日～2月23日	[投稿イベント] あなたの「ドレス・コード」	美術館スタッフ 高山エリ（スタイリスト）	インスタグラムへ投稿された「ドレス・コード」から、「面白い」「ステキ」と思う「ドレス・コード」を選び、コメントをつけて公式アカウントで発表	19人
ドレス・コード？	12月8日	[パブロープ] きがえるワークショップ	西尾美也（アーティスト）	「パブロープ」に集められた服を使って様々な「きがえ」を体験	6人
ドレス・コード？	1月4日 1月5日	[パブロープ] きがえるワークショップ 新春ふくわらい	美術館スタッフ プロジェクトメンバー	「パブロープ」に集められた服を使って、目隠しをして、手の感触だけで服を選んだり、服にまつわるエピソードから服を選んだりしながら「きがえ」を体験	18人

展覧会（つづき）	開催日	タイトル	講師等	内容	参加者数
ドレス・コード？	2月2日	着せかえ紙人形を使って19世紀のファッション・デザイナーになろう！	美術館スタッフ	19世紀のファッション誌の付録についていた着せかえ紙人形のドレスの型（白紙）に好きなデザインを描き、色をつけて制作	50人
ドレス・コード？	2月16日	「パブローブ」つくりかえるワークショップ	美術館スタッフ 「パブローブ」プロジェクトメンバー	「パブローブ」に集められた服を丁寧に解体し、穴の空いたシートに布を通してラグマットを制作	11人
ドレス・コード？	2月23日 ※中止	「パブローブ」勝負服のお裾分け	美術館スタッフ 「パブローブ」プロジェクトメンバー	「パブローブ」の勝負服を来場者に提供し、その代わりに、来場者はその勝負服を着てこれから「勝負したいこと」を記入して交換	—
高浜寛	3月21日 ※中止	高浜寛指導によるワークショップ 「同人誌をつくる」	高浜寛（出品作家）	高浜寛（出品作家）より、マンガの描き方についてレクチャーを受け、「19世紀の通町筋」を主題としたマンガを作成。その後、参加者の原稿を同人誌として発行。	—
合計	19回				311人

（2）市民公募型作品制作

展覧会	開催日	演題	講師等	内容	参加者数
高浜寛のマンガに登場するアイテムで読み解く19世紀末（ベル・エポック）展	11月1日～12月8日 （公募期間）	高浜寛先生、熊本市現代美術館での個展開催決定記念おたくのぶさい家猫、マンガに描きます	高浜寛	全国より飼い猫の写真を公募。そのなかより高浜寛が選んだ優れた猫を、連載中のマンガ「扇島歳時記」（『コミック乱』4月号）に描いた。次点の猫は高浜のブログにてコメント付きで写真を公開した。	116人
ドレス・コード？	12月8日～2月23日	パブローブ	西尾美也	「勝負服」を募集し、だれでも利用できる公共のワードローブを作り出すプロジェクト。服の試着・交換、イベント、リメイクなど、様々な活動を実施 *参加者数には、服の寄贈及び交換枚数のみ記載	227人
合計	2回				343人

2 美術館ツアー、出張授業等

1) 美術館を活用してもらうために、申し込み制で家庭教育学級等をはじめ、一般や学校のグループ向け美術館ツアーを実施。

参加者	受入団体数	参加人数
未就学児	6団体	82人
小学校	24団体	762人
中学校	10団体	298人
高校	21団体	563人
短大	—	—
大学	5団体	175人
専門学校	8団体	312人
一般	2団体	82人
合計	76団体	2,274人

(2) 視察

団体名	開催日	市担当課等	内 容	参加者数
九州産業大学・福岡大学	5月3日	—	「日本の美術館の歴史」の授業中、熊本市現代美術館を紹介	1人
岡山大学	6月24日	—	大学と美術館の連携について	3人
熊本大学・崇城大学	7月26日	—	熊本大学文学部「生涯学習概論」、崇城大学芸術学部「博物館展示論」熊本市現代美術館について	1人
九州都市広報公聴連絡協議会	7月19日	市広報課	熊本市現代美術館について	23人
相模原市議会	10月9日	市議会事務局	美術館の建設、運営に関する調査・視察	3人
十和田市現代美術館指定管理者 エヌ・アンド・エー株式会社	11月9日	—	美術館の管理運営・指定管理のあり方について	3人
都市東京事務所所長会 行政研修会	11月30日	市東京事務所	美術館の建設、運営に関する調査・視察	40人
西日本新聞	3月9日	—	新型コロナウイルス対策について	1人
熊本日日新聞社	3月19日	—	新型コロナウイルス対策について	1人
合 計	9回			76人

(3) アウトリーチ

種 別	開催日	学校・学級	内 容	参加者数
クラシック	9月13日	池田小学校(6年生)	声楽コンサート/ワークショップ	98人
クラシック	9月27日	尾ノ上小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	719人
クラシック	10月17日	池上小学校(全学年)	弦楽アンサンブルコンサート	247人
体現	11月15日	中島小学校(全学年)	フラメンコワークショップ	235人
邦楽	11月19日	井芹中学校(全学年)	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	285人
邦楽	11月20日	慶徳小学校(全学年)	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	125人
邦楽	11月29日	秋津小学校(全学年)	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	546人
邦楽	12月2日	川上小学校(4・5年生)	民謡と邦楽ワークショップ(三味線)	300人
邦楽	1月16日	白川小学校(5年生)	太鼓ワークショップ	65人
邦楽	1月21日	川尻小学館(全学年)	現代邦楽コンサート(箏・ピアノ)	505人
合 計	10回			3,125人

2) 美術館をより身近に感じてもらい次回の活用を促すため、申し込み制で学校等に向けた出張授業やワークショップ

(1) アートプログラム

種別	開催日	対象者	内容	参加者数
出張授業	5月14日、17日	熊本デザイン専門学校	美術館や展覧会に関する学芸員の出張授業	120人
出張レクチャー	9月4日	熊本大学附属支援学校高等部	「デザインあ展 in KUMAMOTO」についてのレクチャー	31人
サンバWS	10月4日	ウイングスクール(小1-中3)	サンバダンサーマサシによるダンスワークショップ	40人
熊本大学共通科目講義	11月8日	熊本大学教育学部学生	図工を学ぶ学生たちに向けた講評・コメント	100人
出張レクチャー	11月2日	出水小2年生	君も彫刻ハカセになろう!	50人
レインボーマンWS	12月18日	一新小5年生+PTA	レインボーマンと一緒に学校に虹をかけるワークショップ	76人
陶芸ワークショップ	1月29日	城北小6年生	陶芸作家、田口和代と一緒にフリーカップを作るワークショップ	90人
陶芸ワークショップ	2月4日	杉上小5年生	陶芸作家、田口和代と一緒にフリーカップを作るワークショップ	60人
合計	9回			567人

(2) アートバス

種別	開催日	学校・学級	内容	参加者数
鑑賞	4月24日、5月15日	天寿園(高齢者)	事前WSと大竹展鑑賞	20人
鑑賞	7月3日	川口小学校(3年生)	探検ツアーとデザインあ展鑑賞	20人
鑑賞	9月26日	杉上小学校(4年生)	探検ツアーと蜷川展鑑賞	62人
鑑賞・ワークショップ	1月31日	小島小学校(支援学級)	探検ツアーとドレスコード展鑑賞、おきがえWS	29人
合計	5回			131人

(3) その他

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
博物館実習	8月23日-29日(6日間)	各大学	学芸員を志す学生に向けた実習	7人
合計	1回			7人

イ 地域文化芸術活動支援

1 若手文化芸術活動者等の支援

種別	開催日	連携機関	内容	参加者数
音楽	7月20日		JAZZ OPEN 2019 中心商店街各所でおこなわれるジャズの祭典。美術館では、ベテランと若手の2組が出演	170人
音楽	10月5日	STREET ART-PLEX KUMAMOTO実行委員会	Great Composer Memorial Series フレデリック・ショパン(EXTRAVAGANZA 2019) 3人のピアニストによるショパンの曲のコンサート	125人
パフォーマンス	3月15日		大道芸2020 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	-
音楽	11月10日	県立劇場	邦楽新鋭展プレイベント	100人
合計	3回			395人

2 地域個人や団体が行う文化活動の支援やネットワーク構築（アートでつながる交流・連携）

内 容	詳 細
ART KISS LETTER	当館で開催する展覧会の各種情報等を掲載するフリーペーパー。本年度から紙面をリニューアル。通年で3回（90-92号）発行した。

1) 行政とともに行政推進・補完のための政策課題の解決

2) 市民とともに行政分野（まちづくり、福祉、教育等）の課題解決

(1) 文化活動支援

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
御所浦白亜紀資料館建て替えに伴う有識者会議とプロポーザル審査	7月1日	天草市	御所浦白亜紀資料館建て替えに伴い、展示・建築に関わる助言とプロポーザル審査
	10月25日		
文化財保存修復学会	12月9日	一般財団法人文化財保存修復学会	第42回大会実行委員として参画。
	2月6日		
邦楽新鋭展	11月24日	くまもと大邦楽祭実行委員会（熊本市民会館・熊本県立劇場）	くまもと大邦楽祭全国邦楽コンクール舞台協力
音楽	3月22日	NPO法人オハイエくまもと	第11回オハイエくまもと とっておきの音楽祭 ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(2) ネットワーク構築

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容
熊本県立美術館 友の会	—	県下美術館	熊本県内の美術館の相互割引、年4回の広告物発送、友の会運営
美術館連絡協議会	4月4日	読売新聞社 全国公立美術館	企画委員会
熊本県文化協会 常任理事会 文化懇話会世話人会	5月9日	県内の文化関係団体と 市町村文化協会	熊本の文化の育成発展に寄与する事業協力、県内の文化関係団体等との情報交換等 芸術文化祭前夜祭（9月1日）、芸術文化祭（9月10日）
	5月30日		
	8月5日		
	9月1日		
	9月10日		
	10月3日		
	11月8日		
12月5日			
サンアントニオ市長・文化部長 意見交換	10月21日	市国際課	サンアントニオ市訪問団対応（市長、文化部長、議員等）との意見交換及び館内案内
地域文化創造協議会	5月30日	市文化振興課	熊本市内の文化ホール、旧四町の文化協会による熊本市の文化事業に関する協議会
	10月25日		
熊本城周辺文化施設会議	5月15日	県文化課	国際スポーツイベントに向けた、熊本城周辺文化施設の情報共有、多言語化等。
	7月5日		

(3) 審査・表彰

審査対象	開催日	主 催 者	内 容
アーティスト・イン阿蘇招聘 アーティスト審査	8月6日	県文化企画・世界遺産推進課	阿蘇に滞在し作品制作をするために、全世界から応募してきたアーティストの選考
	10月2日	県文化企画・世界遺産推進課	来日アーティスト知事表敬・活動中間報告
全国都市緑化くまもとフェアシンボルマーク選考	10月15日	熊本市公園課	2022年春に開催する「第38回全国都市緑化くまもとフェア」のシンボルマーク審査
第16回田山淳朗賞 高校生ファッション画コンテストin九州・沖縄講評	10月19日	ヒロ・デザイン専門学校	熊本出身のファッションデザイナー田山淳朗氏を審査員に迎え、九州・沖縄の高校生を対象にしたファッション画コンクールへの協力・講評・表彰等
熊本県高等学校美術展 審査・表彰	10月28日 11月4日	熊本県高等学校教育研究会 美術、工芸部会	九州大会や全国大会の選考も兼ねた熊本県内の高校生の美術作品審査・表彰
くまもと21の会 こどもスケッチ大会審査	11月25日	くまもと21の会	こどもスケッチ大会「熊本城」280点の審査
合 計	7回		

(4) まちづくり協力

種 別	開催日	連 携 機 関	内 容	参加者数
城下町くまもと ゆかた祭	5月10日	中心商店街等連絡協議会	中心商店街の賑わい創出のために実施されている 城下町くまもとゆかた祭開催に向けた会議	—
	7月27日-28日		本番 ・ゆかたで来館の方に展覧会半額等サービス ・おばけ屋敷同時開催	6,546人
	8月7日		反省会	—
上通アートプロジェクト2019 「上通ストリートサインプロ ジェクト」	6月30日-7月28日	上通商栄会、JAGDA熊本	2019年度上通アートプロジェクト。上通の路上 に、各店舗にちなんだパロディ標識サインを掲出 した。「デザインあ展 in KUMAMOTO」の関連プロ ジェクトとして実施。JAGDA熊本が協力。	—
こどもおもしろおばけ屋敷	7月25日-8月4日	火の国まつり運営委員会・ 熊本市	火の国まつりの開催にあわせ、街なかの賑わい創 出のために実施したおばけ屋敷の準備、運営等に 協力	2,533人
石牟礼道子と志村ふくみ 能 「沖宮上映会」ほか	9月7日	熊本文学隊	上映会兼トーク会場の作品展示サポート、指名さ れての飛込登壇	150人
上通 まちゼミ	8月10日、2月5日	上通商栄会	上通まちゼミ打ち合わせ	—
	10月25日	上通商栄会	第7回まちなかゼミナールへの参加、「きっかけ は彫刻展」のギャラリートourの開催。	12人
ヘリテージマネージャー講習会	2月8日	熊本県建築士会	ヘリテージマネージャー資格を目指す建築士に対 する講義・演習	15人
合 計				9,256人

3 文化芸術活動を地域づくりや都市の活性化に繋げるための会議、講演会等

(1) 美術館が行うクリエイティブなまちづくり研究

種 別	開催日	主 催 ・ 共 催 者	内 容	参加者数
日仏自治体交流会議 エクサンプロヴァンス市との交 流事業（経済会議）	5月22日-27日	熊本市、エクサンプロヴァ ンス市（フランス）	熊本市・エクサンプロヴァンス市交流事業	21人
開館記念日×熊本城ホール開業 記念コラボ企画 エマニュエ ル・ムホー アーティストトー ク	10月12日	市新ホールマネジメント課	エマニュエル・ムホーによる日本文化との出会い や作品と色彩に関するトーク。	60人
開館記念日×熊本城ホール開業 記念コラボ企画 エマニュエ ル・ムホー ワークショップ	10月12日	市新ホールマネジメント課	エマニュエル・ムホーによる色彩に関するワー クショップ。	29人
ひびのこづえ×熊本 ダンスパ フォーマンス	12月20日・21日	市新ホールマネジメント課	熊本城ホールグランドオープンを記念したひびの こづえプロデュースのダンスパフォーマンス 「WONDER WATER」「MASK」の上演（各2回合計4 回）	640人
ひびのこづえ×熊本 作品展示	12月20日～1月14日	市新ホールマネジメント課	熊本城ホールグランドオープンを記念したひびの こづえ作品《透ける風景の緞帳》と、市民の作成 したブローチとひびのの衣装で構成されるイン スタレーションの特別展示	—
合 計	6回			750人

【その他】

種 別	実施日	相手方	内 容	結 果
熊本市現代美術館館長 故・桜井武お別れの会	7月16日	—	熊本市現代美術館館長を務めた故・桜井武を偲ぶ会の実施	熊本市現代美術館ホームギャラリーにて開催。熊本市長、大分市美術館館長に弔辞をいただき、多くの方が参列された。
熊本市の外郭団体への関与及び外郭団体の取組に関する指針（素案）に対する意見書提出	11月27日	熊本市文化振興課（総務課）	熊本市の外郭団体（当財団）の取り組みについて熊本市と協議のうえ作成	設置者である熊本市が、公益法人としての財団の性質をふまえた目標設定と管理運営に関して責任をもって関与していくことを希望する意見内容を提出した。
第5次経営改革計画個別計画の提出	11月8日～ * 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中断中	熊本市文化振興課（総務課）	熊本市の外郭団体（当財団）の経営改革計画について熊本市と協議のうえ作成	3月末までに内容確定の予定だったが、修正途中の段階で新型コロナウイルス感染拡大防止のため中断。計画書の記載内容修正を求め財団より意見書を提出した。